

「高陽地区へのスマートインターチェンジの設置について」の概要説明会におけるご意見・ご質問に対する回答

説明会(令和8年3月1日)において頂いたご意見・ご質問とその回答を以下のとおり整理しました。
(質問の意図や回答を分かりやすくするため、実際の発言とは異なる部分があります。)

1.アクセス道路に関すること

番号	意見・質問	回答
1	細い道から交通量の多い道路に信号なしで合流するのは危険である。高齢者も多く、安全対策が必要である。	関係機関と協議し、安全対策を検討します。
2	アクセス道路は高架になるのか。	アクセス道路は平面道路で整備します。
3	標識はアクセス道路以外のルートについても案内するのか。	アクセス道路を通じていただくよう案内します。他のルートを案内することはありません。

2.岩上川の付替えに関すること

番号	意見・質問	回答
1	岩上川の付替えにあたり、流量が増加しないようにしてほしい。増えるようであれば、調整池の設置を検討してほしい。	流量の変化については、今後、詳細設計を行う中で確認し、設計説明会で説明する予定です。
2	岩上川の付替えにあたり、岩上川の流域の住民を対象とした説明会を開催してほしい。	説明会の対象範囲については、設計の内容を確認した上で判断します。

3.取付道路に関すること

1	高陽浄水場裏門の交差点は現在、急なY字路となっており、大回りして進入している。そうした中で交通量が増えると危険なので、信号の設置や浄水場側への道路線形の変更をお願いしたい。	川が近く大規模な改良は難しいですが、現地状況を確認し、交差点改良や安全対策を検討します。
2	他地区への説明会を開催してほしい。	他地区への説明の必要性を認識し、対応を検討します。 (R8.8.20更新)⇒今後は幅広く周知を図ることとします。

4.機能復旧道路に関すること

1	北側の機能復旧道路について、車両が通行できなくなるのは困る。	高陽台団地への生活道路をICへの近道として利用されないよう配慮したものです。車が通れる案も含めて検討します。 (R8.8.20更新)⇒車が通れる案についても検討を行いました。既存のボックスカルバート付近に交差点を設置する必要があることや、道路の線形上、見通しが十分に確保しにくいことから、安全性の面で現計画よりも懸念が生じることが確認されました。なお、現在の計画では、高陽台団地内の安全面に配慮し、北側の機能復旧道路について、自転車および歩行者専用の道路として整備する方針としており、高陽台団地町内会に確認したところ異論はなかったため、当初の計画どおり進めます。
---	--------------------------------	---

5.工事に関すること

1	工事中の騒音や工事車両の通行による住環境の悪化が心配である。スマートインターチェンジの設置に当たり、丁寧な説明を行う必要があるのでは。	設計や工事に係る説明会を開催する中で、丁寧に説明します。
---	---	------------------------------